

令和4年11月24日

理事長決定

独立行政法人国立美術館 作品収集方針

1. 基本方針

○ 独立行政法人国立美術館は、国民が恒常的に多様で秀逸な美術作品を鑑賞できる機会を提供するとともに、国内の美術館活動の活性化に資するため、我が国の近現代美術及び海外の美術を体系的・通史的に提示し得るとともに、将来の国民の資産となる国際的に質の高いナショナルコレクションの形成を図るものとする。重点事項は以下のとおりとする。

(1) 体系的・通史的展示を実現する上で必要不可欠な動向・作家・作品を検証・明確化し、その収集に努める。

(2) 近年、国際的に是正が求められている、コレクション内におけるジェンダーバランスや地域性等の多様性に配慮し、優れた女性作家の作品の調査・収集に努めるとともに、地域的にもバランスのとれたコレクション形成を図る。

(3) ナショナルコレクションにふさわしい国内現存作家の作品をはじめ、国内外の現代の美術の動向を示す作品の同時代収集を推進し、将来的に世界の美術の動向を検証・展示する重要作品の確保に努める。

2. 収集の進め方

○ 収集に当たっては、上記方針を踏まえ、法人本部と各館の連携のもと、美術作品の動向に関する情報の入手と機動性の向上、国内外の客観的情報の調査を含めた専門的評価に取り組むとともに、法人全体及び各館におけるコレクションの現状や収集活動の状況及び重点分野等について、学芸課長会議等の場を活用して緊密な情報共有と連携・調整を図ることで、法人全体として適切かつバランスの取れた収集を戦略的に進める。

○ 特に、法人本部が管理する美術作品購入費については、収集に緊急を要する美術作品及び各館の通常予算では購入できない価格の美術作品の購入並びに国内外の現代作家の同時代購入に充てるものとする。これらの購入候補作品の選定にあたっては国立美術館としての役割・方針を踏まえ法人全体のコレクション形成という観点から検討・調整するものとし、法人本部において、学芸課長会議等の場を通じた候補作品の調整・選定、経営会議の審議を経て、理事会において購入候補作品を決定する。

○作品の購入・寄贈受入れの決定に際しては、所蔵先となる各館において外部の有識者・専門家を選考委員・評価員に委嘱して意見を聞くものとする。

3. 各館における収集の方針

○ 国立美術館各館は、以上の方針に基づきつつ、各館の特色を際立たせる展示が可能になるよう所蔵作品の充実を図るものとし、中期計画・年度計画に定める収集方針に従い作品収集を行う。

○ なお、当面の各館の収集方針は下記の通りとし、法人全体の方針に沿って適切に見直しを行う。

（東京国立近代美術館 本館）

19 世紀末から今日に至る日本の近現代美術の流れを、国際的な関連を交えつつ通史的・体系的に示すために、その十全な展開に必要不可欠な歴史的価値を有する作品・資料の収集に努める。またジェンダーバランスや地域性といった同時代的に重要な視点を常に踏まえ、将来的にその時代を象徴しうるような先駆的作品の確保に努める。

（国立工芸館）

近現代の日本の工芸作品及びデザイン作品の体系的・通史的概観を可能とし、かつ世界との関係を示すため必要な時代や国・地域の作品の充実を図る。また、性別・年齢の偏りを是正するよう配慮しつつ時代精神を映し出す優品を積極的に収集するよう努める。とりわけ日本工芸の近代化を示す作品の補充と、個々の表現を模索し多様な展開を見せる、戦後から現代に至る重要な作品の収集を中心とする。

（京都国立近代美術館）

近現代の工芸全般、日本画、油彩画、版画、彫刻、写真など多様なジャンルの作品・資料を収集し、将来における横断的美術史研究と総合的展観に資する体系的コレクションの形成に努める。その際、優れた女性作家の作品を積極的に収集し、美術館活動におけるジェンダーバランスの是正を目指す。また、美術における京都を含む西日本の歴史的文化的重要性を鑑み、その地域性に立脚した作品や、世界の美術との影響関係の検証に不可欠な作品の収集に努める。

（国立西洋美術館）

中世から 20 世紀前半に至る西洋美術の流れの体系的・通史的概観を可能とするのに必要不可欠な時代や地域の作品の充実を図り、女性作家の作品も積極的に収集するよう努める。設

立の基盤である松方コレクションに関しては、松方旧蔵品の調査研究の成果に基づきつつ収集する。また、ヨーロッパ版画史を通覧できるよう、多様な様式や主題の作品の系統的収集を行う。

（国立国際美術館）

日本美術の発展と世界の美術との関連を明らかにするために、国際的な交流が極めて盛んになった 1945 年以降の国内外の美術を収集対象とする。なかでもとりわけ、同時代性の高い先端的な美術を中心に調査・研究を行い、総合的な影響関係を踏まえつつ、ジェンダーバランスの是正や、非欧米地域の動向、国内の地域バランスにも配慮しながら、今後の美術史に寄与する作品を体系的に収集する。